

令和5年度文部科学省 教師の養成・採用・研修の一体的改革推進事業

# 「強みと専門性」との両立可能な 教職課程の在り方等に関する研究 ～好事例集～

2024年3月

金沢大学 教職総合支援センター

# 目次

はじめに	p.3
調査の流れ	p.4
金沢大学の教職課程履修学生を対象としたヒアリング調査	p.5
教職課程を有する大学を対象としたアンケート調査	p.12
公開情報による調査	p.17
立正大学 社会福祉学部	p.18
城西大学 理学部	p.19
天理大学 体育学部	p.20
その他	p.21
大学ヒアリング調査	p.22
岡山大学 文学部	p.23
東北文教大学 人間科学部 子ども教育学科	p.26
佛教大学 社会福祉学部	p.29
高知大学 理工学部・教師教育センター	p.32
高知県立大学 看護学部 看護学科	p.35

# はじめに

## 【事例集作成の目的】

- **児童・生徒の多様な資質を伸ばすためには、指導する教員の多様性も必要**です。問題は、(1)専門性（留学を含む）を深めるための授業や活動に打ち込むと、教員免許の取得のための授業時間の確保が難しくなること、他方、(2)従来の教員養成カリキュラムはオールラウンダー養成の側面が強く、教育法以外の専門性の習得がしばしば不十分なこと、が挙げられます。
- 本調査研究では、教員養成学部生も非教員養成学部生も、専門性と教員としての資質をバランスよく身につけ、教員免許を取得できるようなカリキュラムの好事例を選定し、本事例集としてまとめました。

## 【好事例の選定方法】

### ①教職課程を持つ大学を対象にしたアンケート調査

各大学学部において、教職課程の状況・取組をアンケート調査しました。「教員免許取得率、教員就職率」が高い学部は、各専攻と教職課程の両立に成功していると考え、教職課程における取組を入口・履修中・出口の観点で調査しました。

また、取組の詳細をヒアリング調査し、好事例としてまとめました。

### ②金沢大学の教職課程履修学生を対象にヒアリング調査

金沢大学において教職課程を履修したことがある学生に「教職課程を履修したきっかけと進路選択の理由」や「教職課程で苦労した点」、「どんな支援があるとよいか」などをヒアリング調査しました。

学生側からのニーズを把握することで、①のアンケート調査の結果から好事例を選定する際のポイントをまとめました。

# 調査の流れ

## ①教職課程を持つ大学を対象にしたアンケート調査 大学学部における教職課程の取組を把握

- 教職課程の状況（教員免許取得率、教員就職率）
- 教職課程における取組

## ②金沢大学の教職課程履修学生を対象にヒアリング調査 学生のニーズを把握

- 教職課程履修のきっかけと進路選択理由
- 履修中の苦勞
- どんな支援があると良いか

## 先進的な取組の収集（好事例集）

アンケート調査で把握した教職課程の取組を、教員免許取得率・教員就職率に加えて学生のニーズの観点を中心に分析し、先進的な取組を調査しました。

- 公開情報による調査

Web上に公開されている学部紹介パンフレットや履修要項、教職課程の情報を参考にしました。

- ヒアリング調査

具体的な運営方法など、さらに詳しい情報収集のためにヒアリング調査を行いました。

本資料では②⇒①の順番で調査結果を次のページからまとめます。

# 金沢大学の教職課程履修学生 を対象としたヒアリング調査

受講者である学生の観点から、教職課程と専攻の両立における状況や、必要としている支援について調査しました。

# 金沢大学の教職課程履修学生を対象にヒアリング調査

金沢大学において教職課程履修学生を対象にして、「教職課程を履修したきっかけと進路選択の理由」や「履修中に苦労した点」、「あると良い支援」などの項目をヒアリングしました。

## • 募集方法

- 教職課程の必修科目「教師論」（1年後期開講）の履修者に大学ポータルサイトのメッセージで募集、ヒアリング協力者の紹介

## • ヒアリング協力者

- 人数：20人（文系 10人、理系 10人）
- 学年：2年生～博士前期課程1年
- 教員あるいは教員志望：9人、一般企業就職希望：11人

### 【概要】

学生が教職に興味を持つ理由は、過去の良い教師との出会いや教育への興味、教員の身近な人の存在などであり、これが職業選択に影響を与えている。進路選択には、大学での学びを活かす意欲が共通しているが、一般企業志向は職場環境の印象や興味の変化の影響がみられた。教職課程では、履修登録の複雑さや座学中心の授業のためモチベーション維持などで苦労しており、支援として履修相談窓口や実践的セミナーなどが求められている。

## • 教職課程を履修したきっかけ⇒中学・高校での経験がきっかけ

多くの学生が中高時代の良い教師に出会ったこと、教育に対する興味、または身近な人が教員であることから教職に興味を持ったと報告した。これは、教師の日常の影響力が、学生の職業選択に大きな影響を与えていることを示していると考えられる。

大学受験の際、教育が専門ではない分野を選択した理由としては、文学や理学などの学問に興味があったことを挙げていた。

## • 進路選択の理由⇒現場との交流機会が重要

教員を目指す学生と一般企業を目指す学生の両方が、大学で学んだことや専門知識を活かしたいという動機で進路を選択していた。一方で、一般企業を選んだ理由としては、職場環境の印象や自分の興味の変化が挙げられていた。

「教職に対する自分の適性」に関して、教員を目指す学生と一般企業を目指す学生の両方で見られた。特に、教育実習で現場を経験し、自分の専門性を活かせるかどうか、やりがいを感じられるかなど再認識するようであった。

## • 遅い時間の開講

金沢大学において教職科目は1限や、専攻科目の後5限、6限に配置されていることが多い。これらは金沢大学の環境独自の問題ではあるが、角間キャンパスが市内から離れており、公共交通機関が限定されていることもあり、登学に苦勞したという意見が挙げられた。特に、理工学域の学生は専攻の実験の後に教職科目があり、講義棟を移動するのが大変だという意見があった。

## • 履修登録の複雑さ

人文学域の学生については、履修登録の複雑さに苦勞していた。「大学が独自に設定する科目」の単位を見落としていて、4年生後期に教育の基礎に関する科目を履修している学生が多かった。1年前期に教職ハンドブックを用いた履修ガイダンスがあるが、「単位制」に慣れていないため、きちんと理解するのは難しいようである。現在は「大学が独自に設定する科目」についての説明が強調されており、改善されているようだった。

## • 模擬授業や授業づくり

模擬授業や授業づくりについて教育実習前にもっとやっておきたかった、現場で使用しているICT機器を使用する機会が欲しかったなど、教育実習後に感じた意見も挙げられた。



# 学生ヒアリング：【③どんな支援があるとよいか】 9

- 履修相談窓口など気軽に相談できる場所があるといい。
- 学生間の縦のつながりで情報共有ができるといい。
- 教職課程の情報発信がわかりやすくまとまっているといい。
- 教育実習に向けた実践的なセミナー；授業づくり、現場のICT機器の活用方法などがあるといい。
- 時間割上、早い時間・遅い時間に開講されるのは仕方がないが、少しでも何とかならないか。
- 遅い時間の学食やバスがあると便利だと思う。

## 【オンライン、オンデマンドに対する意見】

ヒアリングした学生の多くは新型コロナウイルスの影響で、教職科目を遠隔授業、あるいはオンデマンド授業で受講した経験があった。理工学域の学生は講義棟の移動時間がなくなり便利だったという意見があった。一方、遠隔・オンデマンド授業では課題が多くなり、逆に大変だったという意見もあった。

## 【教員採用試験に関する情報収集】

教員採用試験に関する情報収集について、教員就職した学生9人に尋ねた。金沢大学キャリア支援室が実施している採用試験対策を利用したのは1人であり、民間企業の対策講座を利用したのが3人、教育委員会のWebページや友人との情報共有がそれぞれ3人、外部の教職支援機関を利用したのが2人だった。教員採用試験を受験するのを決めたタイミングの影響もあるが、効果的な情報発信が必要だと考えられる。

履修者の観点では、次の項目が教職課程の両立のポイントだと考えられる。

- ✓ 時間割内で教職課程が受講可能である。
- ✓ 履修に関する情報がわかりやすくまとまっている。
  - ✓ 履修モデルとして時間割の例示
  - ✓ 「大学が独自に設定する科目」の履修方法
- ✓ 現場での経験が、モチベーション維持、自分の適性判断において重要である。
- ✓ 教職への意欲は中学・高校などの経験が重要である。

# 教職課程を有する大学を対象 としたアンケート調査

## • 調査方法

全国の教職課程を持つ大学学部に対して、教職課程に関して「入口、履修中、出口」の観点でアンケート調査を、2023年10月30日～2023年11月20日の期間で実施した。ただし、回答する大学学部の負担を考慮して「教職課程を履修している学生が1学年10人以上の学部」を対象とした。質問項目によって回答数にブレがあったが、**最大656学部から回答**をいただいた。

## • 解析方法

アンケート結果から「教員免許取得率」と「教員就職率」を計算した。それぞれの計算式を式(1)と式(2)に示す。

$$\text{教員免許取得率} = \text{教員免許取得者実数} \div \text{卒業生数} \quad (1)$$

$$\text{教員就職率} = \text{教員就職者数} \div \text{教員免許取得者実数} \quad (2)$$

**教員免許取得率、あるいは教員就職率が高い学部は、それぞれの専門性と教職課程を両立できていると仮定し、その取り組みを調査した。**また、自由記述欄の取組内容で特徴的な取組についても調査した。

# 教員免許取得率・教員就職率：概要

学部分野ごとの教員免許取得率・教員就職率の平均値と中央値を示す。人文科学と理学、保健、美術など、学校現場で触れる科目の教員免許取得率が比較的高かった。理学のデータ数が少ないが、理工学として「その他」に含まれている場合があった。同様に、音楽はアンケートの選択肢になかったため「その他」に含まれていた。

	データ数	免許取得率 平均	免許取得率 中央値	教員就職率 平均	教員就職率 中央値
人文科学	146	17%	11%	39%	36%
社会科学	94	9%	4%	27%	23%
理学	36	15%	14%	27%	26%
工学	55	5%	4%	20%	19%
農学	19	7%	6%	18%	16%
保健	62	24%	18%	32%	30%
商船	0				
家政	27	21%	16%	32%	31%
教育	32	66%	73%	41%	42%
美術	14	12%	11%	14%	8%
その他	31	36%	33%	27%	26%
教員養成課程	130	80%	95%	51%	54%

# 教職課程の取組と教員免許取得率・教員就職率

アンケート調査では「各学部の分野」や「強みと専門性」、「取得可能な資格」といった情報と、教職課程に関する以下の取組を調査した。

- セミナー実施回数
- 教務委員会との連携
- 現職教員との連携
- 開講方式
- 現場交流の機会
- 採用支援

これらの取組と教員免許取得率、教員就職率の関係をヒストグラム及び散布図で確認した。

## 【解析結果の概要】

全体的な傾向を見ると、現場との交流機会を提供している学部の教員免許取得率、教員就職率が高かった。オンデマンドや集中講義など、履修方法の自由度が高い方法による教員免許取得率の影響は見られなかった。これらの開講方式は、各大学学部の事情に合わせて実施されていると考えられる。

## ✓ 行事支援やスクールインターンが進路選択に効果的か

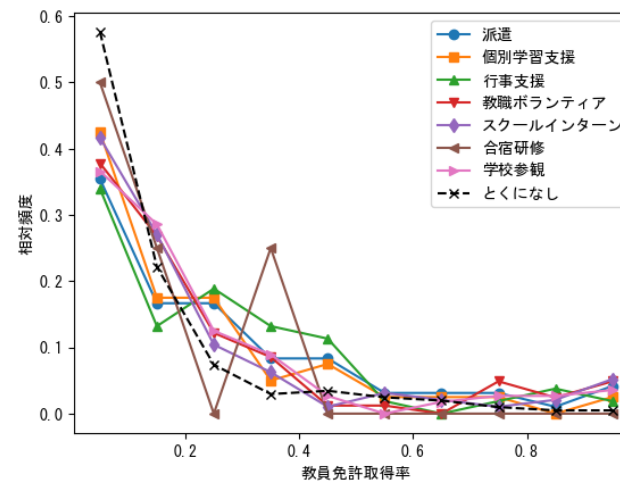
特徴的なのは行事支援やスクールインターンであり、免許取得率や就職率が比較的高くなる傾向が見られた。校務分掌や学校運営という生徒だった時にはわからないこと、教職課程ではあまり扱われないことを体験することで、教員という進路選択につながると推察できる。

## ※補足

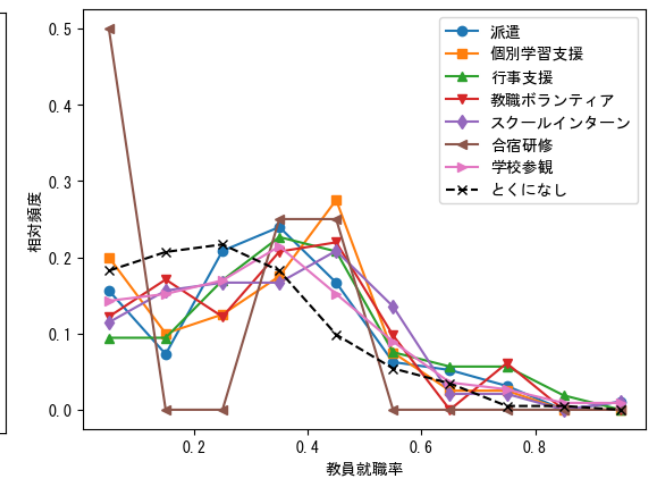
合宿研修は実施する学部が5学部であり、十分なデータ数ではないが、教員就職率を高くする効果が見られた。

現場交流機会（課程内）

教員免許取得率

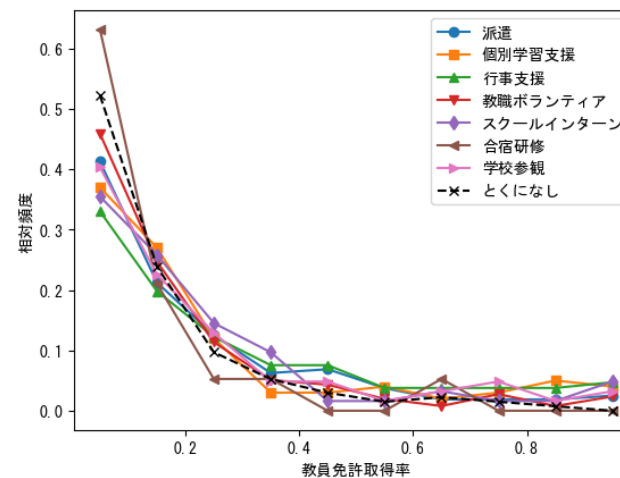


教員就職率

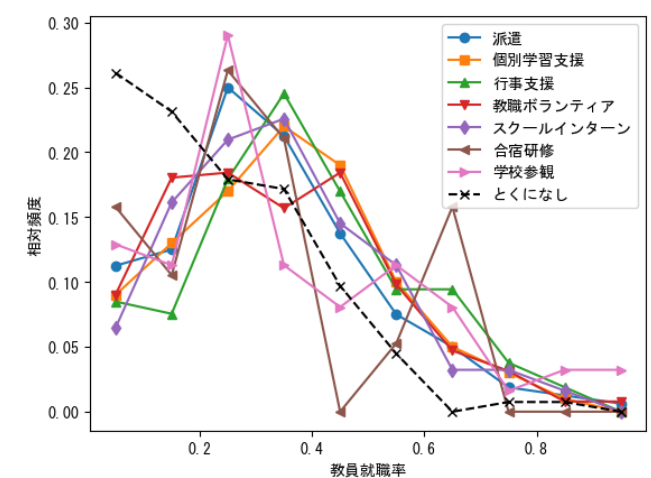


現場交流機会（課程外）

教員免許取得率



教員就職率





# 公開情報による調査

教員免許取得率が高い大学学部について、Webページや公開されている履修要項、教職課程の情報を収集してまとめた。

## 【基本情報】

社会福祉学科と子ども教育福祉学科が開設されている。教職課程に関するコースとして、社会福祉学科：教育福祉・社会デザインコース（特別支援教育プログラム）、子ども教育福祉学科：保育士＋幼稚園教諭・小学校教諭（＋幼稚園教諭）が用意されている。子育て支援センター（通称ベアリス）が開設されており、学内にある現場で学ぶことができる。

## 【取得できる免許種別】

社会福祉学科	社会（中）、公民（高） 特別支援学校教諭一種免許状
子ども教育福祉学科	小学校教諭一種免許状 幼稚園教諭一種免許状

## 【2022年度 教職課程の情報】

教員免許取得率	38% (102/272)
教員就職率	38% (39/102)

## 特徴的な取組

- ✓ 学内に**子育て支援センター**が開設されており、**授業や実習、学生ボランティアの活動**も行われている。子どもとの交流だけでなく、保護者の方との交流も可能である。
- ✓ 各学科に進路を意識したコースが設置されており、それぞれの専門知識を離村の学習と現場での実践を4年間を通して修得できる。

## 強みと専門性

「福祉」の観点を基礎にした教育者を養成している。理論だけでなく、現場交流の機会を重要視しており、実際の現場を通じた学修が実現されている。

## 【基本情報】

数学科と化学科が設置されており、合計で40名程度の教員免許取得者がいる。教職課程センターの公開情報によると、理学部の教職課程履修者の多くが教員免許取得している。学生便覧における「教職課程」の紹介では、「教職課程の必修」と「学科専門科目分野の必修」がわかるように表示されており、履修計画時の閲覧性が高い。

## 【取得できる免許種別】

数学科	数学・情報（中・高）
化学科	理科（中・高）

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	51% (57/112)
教員就職率	47% (27/57)

## 特徴的な取組

- ✓ **現場交流の機会として「スチューデント・インターンシップ」が実施**されている。これは、学生が地元の小・中学校の授業や放課後指導の補助をするボランティア体験授業である。
- ✓ 教職科目の一部（スチューデント・インターンシップや教科指導法の一部）が卒業に必要な単位に算入可能になっている。

## 強みと専門性

数学科では数学の各専門分野だけでなく、ICT技能も身につけるようなカリキュラム、教員配置がされている。また、**数学と実社会（環境や金融分野など）をつなぐ視点を持った学生を養成**している。

## 【基本情報】

体育学科に5コース（競技スポーツコース、スポーツ教育コース、スポーツ文化コース、健康スポーツコース、武道コース）が開設されている。スポーツ教育コースの教員免許取得者数が最も多いが、すべてのコースで多くの教員免許取得者がいる。教員や社会体育指導者、健康運動指導士の資格取得を教育目標としており、それを実現するためのカリキュラム、支援体制が構築されている。

## 【取得できる免許種別】

体育学科	保健体育（中・高）
------	-----------

- ✓ 「公認スポーツ指導士（一部科目免除）」や「健康運動指導士（受験資格）」、「トレーニング指導者（受験資格）」

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	69% (150/218)
教員就職率	35% (52/150)

## 特徴的な取組

- ✓ 「学校教育支援」という授業は、事前指導と学校現場でのスクール・サポート（学校支援ボランティア）活動、2回の活動報告会で構成されており、教員としての能力を理論と実践の両面で養うことができる。
- ✓ 「国際スポーツ交流実習」や「海外スポーツ型インターンシップ」が企画されており、スポーツを通じた異文化理解も進めている。

## 強みと専門性

スポーツを土台にコーチ論や心理学、メディア論など多角的な学びを展開している。スポーツ教育コースでは、少人数制授業により指導を受けるなかで、生徒との接し方、アドバイスの仕方を学ぶことができる。

# その他：特徴的な取組（学部名非公開）

- ✓英会話を楽しめる懇談会の開催や海外インターンシップを行っており、異文化コミュニケーションの理解や、日本文化の発信の経験ができる。
- ✓卒業生との懇談会を開催しており、**教育者・保育職への明確なビジョン形成**に役立っている。
- ✓**学年オリエンテーション**が開催されており、学年ごとに教職課程を含めた標準時間割が例示されている。
- ✓教職の実験科目は、夏季休業中や2月末に集中講義で開講されている。
- ✓教職課程の単位数について、「大学が独自に設定する科目」は「教科及び教科の指導法に関する科目」にまとめて情報発信している。
- ✓教職に関する科目や博物館学芸員に関する科目の一部を卒業単位に算入することができる。
- ✓教職課程学習を振り返る際、グループワークによる共有もされており、学生間のつながりや進路決定に役立っていると考えられる。

# 大学ヒアリング調査

# 岡山大学 文学部：概要

## 【基本情報】

岡山大学 文学部は、哲学・芸術学プログラム、心理学プログラム、地理学・社会学・文化人類学・社会文化学プログラム、歴史学・考古学プログラム、言語プログラムの5つの主専攻プログラムに加えて、分野横断・学際的なテーマを扱う総合人文学プログラムやスキルアップ・各種資格取得を目指したアドバンスト・プログラムが開設されている。

## 【取得できる免許種別】

中学校教諭一種免許状（社会、国語、英語）
----------------------

高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民、国語、英語）
----------------------------

- ✓ 「**学芸員**」や「**公認心理士（受験資格）**」などのプログラムがアドバンスト・プログラムとして開設されている。

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	11% (17/157)
教員就職率	35% (6/17)

## 特徴的な取組

- ✓ **教師教育開発センター**・教師教育開発部門との密接な連携のもと、**4年間を通じた計画的な履修を実現**。
- ✓ 入学時「教職課程履修説明会」、5月に「全学教職履修ガイダンス」、9月に「母校訪問」を実施するなど、**1年次のプログラムが充実している**。
- ✓ 教師教育開発センターの教職支援部門が「教職相談室」において、**随時採用試験対策を実施**。また、「教師力養成演習」を授業化し、学校の現代的課題に学んでいる。

## 強みと専門性

主専攻プログラムに加えて、分野横断的な総合人文学プログラムやスキルアップを目指すアドバンスト・プログラムが開設され、身につけたい力に応じてプログラムを任意に選択することができる。



## 【教職課程の入口】

- 教職課程に関する説明は「教師教育開発センター」が入学直後に実施している。また、5月に全学教職オリエンテーションを実施。この時点でセンターが編集した『教職課程履修ハンドブック』が配布される。このハンドブックには教職課程のカリキュラムマップが学部ごとに示されていることから、4年間の見通しを立てることができる。
- 文学部のガイダンスにおいても、教職課程についてのアナウンスを行っている。
- 1年生の9月には「母校訪問」が教職課程履修者必修として設定されており、1日母校を訪問して、授業訪問および恩師へのインタビューを行い、レポートを作成する。

## 【履修中】

- 1年の前期から教職科目が開講されている。時間割は、基本的に専門科目と重複しないよう設定されている。
- 文学部でアカデミック・アドバイザーとの相談会を年2回設けているが、その際に教職担当アカデミック・アドバイザーが教職に関する相談を受けている。相談内容によっては、教師教育開発センターにつながることもある。
- 教育実習の事前指導では、教科別に高校教員を呼んで指導を依頼している。

## 【教員採用試験などの支援】

- 教師教育開発センターの教職支援部門が「教職相談室」を設置して随時採用試験対策を行っている。教育学部が教採受験者対象に開催している「教採集中セミナー」にも参加可能。

## 【その他】

- 教師教育開発センターが学部の求めに応じて、毎年全学教職課程FD・SD研修会を実施。教職課程の科目構成と学部の教員が「教科専門科目担当教員」であることの確認を行っている。
- 全学教職課程運営委員会が月1回開催され、全学の教職課程に関する課題の発見とその解決が図られている。
- 大学共通のシラバスに「教職課程該当科目」の欄を設け、対応する免許教科・校種を明示。
- 文学部では教職科目が、自由科目として卒業単元に算入されるため、他の開放制課程認定学部に比べて教職課程を履修しやすくなっている。



岡山大学教師教育開発センターは、平成22年（2010）教育学部附属教育実践総合センターを全学施設に発展的に改組して設立。

## 【各部門の概要】

### • 教師教育開発部門

- ①全学教職コアカリキュラムの企画運営、研究開発、教材作成
- ②全学教職課程FD・SD研修会の企画運営
- ③開放性教職課程履修者の動向に係る調査研究

### • 教職支援部門：①教職相談室 ②教師力養成演習

### • 教職コラボレーション部門：①岡山県・市教委との連携協力事業実施 ②学校ボランティアのマッチング

### • 理数系教員養成事業部門：①岡山理数教員（CST）養成拠点構築事業 ②小学校CST， 中学校CST， 現職CSTの養成

## 【基本情報】

東北文教大学 人間科学部 子ども教育学科（定員70人）は、小学校や幼稚園教諭保育士を養成する学科である。1年時に3つのカリキュラムモデルを示し、学生が将来の進路希望に合わせて履修を行う。<1) 小学校一種 + 学校図書館司書教諭、1') 小学校一種 + 幼稚園一種 + 学校図書館司書教諭、2) 幼稚園一種 + 保育士>

## 【取得できる免許種別】

小学校教諭一種免許状

幼稚園教諭一種免許状

- ✓ 「**保育士資格**」や「**学校図書館司書教諭**」などの資格取得コースも開講している。

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

小学校教員免許取得率	53% (53/101)
小学校教員就職率	74% (39/53)

## 特徴的な取組

- ✓ 教員免許と教育現場に関係する資格を取得するカリキュラムモデルを用意している。
- ✓ 図書館司書教諭はオプションではあるが、教員免許と並行して取得できるように時間割が組まれている。
- ✓ 年間200回以上の教職セミナーが教職実践センターによって実施されている。
- ✓ 現場の課題を取り上げることで、教員になるだけでなく、長く教員としてやっていける教員養成を実現している。

## 強みと専門性

小学校や幼稚園、保育士など初等教育における専門性を養成している。また、学校図書館司書教諭の取得を推進しており、学校運営においても強みを持った人材を養成している。

東北文教大学は教職セミナー回数が200回以上と特徴的であった。この教職セミナーを実施しているのが「教職実践センター」である。

## 【取組内容】

- 教職実践センターは、**3人の教員（校長OB）と事務員2名から構成**
- 教職実践センター教員が**年2回全学生と面談**
  - ✓学生の教職への意欲を確認し、必要に応じて支援
  - ✓スクールサポーター参加を促したり、教育実習の準備を促すなど、学年に応じて教職に気持ちが向くように支援
- 自治体別教職説明会の企画
- **教員採用試験対策**
  - ✓個人面接、集団面接、場面指導、論作文、模擬授業、集団討論、教科実技などの指導や願書の点検、志望動機のブラッシュアップなど

※単に試験対策ではなく、**教職への意欲をもてるよう、自分と向き合い、それを願書に反映できるよう支援**

- **3人のセンター専任教員と2名の非常勤職員が交代で毎日実施**（3・4年生が対象）
- 単位にはならないが授業の入っていない時間に行うことで、教職を希望する学生が受講  
（4年生は授業が少ないので、参加しやすい）
- 「小論文」と「場面指導・討論」を交互に実施
- 単に教員採用試験対策ではなく、**教員になった後に直面するであろう様々な課題**についても取り上げる。
- 教員になることだけでなく、長く教員としてやっていける教員を養成

これらの取り組みが高い教員免許取得率と教員就職率につながっている。

6月の学習会実施内容について

期 日	担当	指導科目	指 導 内 容
6月1日(木)		場面指導・討論	「教育は人なり」
6月2日(金)		小論文	「開かれた学校づくり」
6月5日(月)		場面指導・討論	「いじめの防止及び対応(いじめ防止対策推進法より)」
6月6日(火)		小論文	「学校・家庭・地域の連携」
6月7日(水)		場面指導・討論	「豊かな心の育成を図るために」
6月8日(木)		小論文	「小中一貫教育について」
6月9日(金)		場面指導・討論	「子どもの忘れ物対応」「通知表への保護者の苦情」
6月12日(月)		小論文	「生徒指導を生かした授業づくり」
6月13日(火)		場面指導・討論	「カリキュラムマネジメント」
6月14日(水)		小論文	「自立した若者に育てるために」
6月15日(木)		場面指導・討論	「ほめ方と叱り方」
6月16日(金)		小論文	「規範意識の育成」
6月19日(月)		場面指導・討論	「不登校児童への支援について」
6月20日(火)		小論文	「これからの教師に求められる資質・能力とは」
6月21日(水)		場面指導・討論	「国際化への対応」「情報化社会への対応」
6月22日(木)		小論文	「ICT教育の効用について」
6月23日(金)		指導・討論	「避難訓練への事前指導」
6月26日(月)		小論文	「保護者とのよりよい関係を築くためには」
6月27日(火)		場面指導・討論	「チーム学校について」
6月28日(水)		小論文	「発達障害への対応について」
6月29日(木)		場面指導・討論	「学校運営協議会について」
6月30日(金)		小論文	「キャリア教育の進め方」

- 10 -



# 佛教大学 社会福祉学部：概要

## 【基本情報】

佛教大学社会福祉学部は社会福祉学科が開設されており、4年後の進路につながる段階的な学びを提供している。社会福祉士や精神保健福祉士、保育士などの福祉関係の国家資格だけでなく、大学全体として資格取得支援プログラムを開設している。

## 【取得できる免許種別】

中学校教諭一種免許状（社会）
高等学校教諭一種免許状（地理歴史、公民、福祉）
特別支援学校教諭一種免許状

- ✓ 「**図書館司書**」や「**社会福祉士**」など合計9種の資格コースを開講している。

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	17% (50/290)
教員就職率	44% (22/50)

## 特徴的な取組

- ✓ **通学＋通信での併修制度**があることから取りこぼした・途中から取りたいと思い始めた免許も後から獲得可能であることが、学生のやる気さえあれば一步すすめる環境が整備されている。
- ✓ **教職支援センターの教員12名による手厚いサポート体制**がある。これらの教員は、通信の学生1000名ほどの実習訪問指導を担当するほか、試験対策などのパワーアップ講座を行う。

## 強みと専門性

通学・通信の併修によって、自分の究めたい専門性に追加する形で、異なる分野の免許を取得できる。これにより今後の教育現場に求められる教科と教科をつなぐ役割の人材育成が期待できる。

# 佛教大学 社会福祉学部：詳細

## 【教職課程の入口】

### <高校生向け>

- 入学課が担当し、説明会やオープンキャンパスで、教員免許が取れることを説明する。

### <学内向け>

- 教育学科の先生がアナウンスを行う。教職支援センターの人も主導で動く。
- ・4/1の入学式の翌日4/2に、全学部を対象としたガイダンス（教員になりたい人向けの）を行う。
- ・ガイダンスでは、1～4年間の履修モデル、ボランティアやインターンなどの日程の年間スケジュールを、1年生の早い段階から伝える。

## 【履修中】

### <春・秋にガイダンスを実施>

- 4/2の教職希望者専用のガイダンス、教育実習のガイダンス、免許併修のガイダンス、通信の人はzoomなどで相談受付を実施

### <免許併修について>

- 通学をしていたら取得できない免許科目を1つの免許に限るが獲得できる。
- 2年生から通信での受講が可能。1年生の6月、12月にガイダンスがある。
- 費用は学費とは別に支払う必要がある。

### <教職支援センターのサポート>

- 校長や教育委員会あがりの人が、専任8名、非常勤4名いる。
- 小・中・特支の、京都市、京都府、滋賀、大阪、奈良の関係者がいる。
- これらの教員は、通信の学生1000名ほどの実習訪問指導を担当するほか、試験対策などのパワーアップ講座を行う。

## 【教員採用試験などの支援】

- 教職支援センターの教員によるパワーアップ講座を実施
- 進路支援課が外部の人を招聘した講座も開催  
⇒各都道府県の試験内容、模擬授業、面接などの対策が行われる。

## 【その他】

### <現場交流の機会>

- コロナ前はOB/OGで教員になった人の学校に、希望者が訪問していた。先輩の先生方が授業をしている様子を見に行くという取り組みであった。

### <他の資格支援プログラム>

- 資格については、資格課の方でガイダンスなどが行われている。
- 図書館司書と教職科目を取った学生は、2022年は5名程度。

# 佛教大学：免許併修プログラム

□免許併修プログラムによって、通学課程で在籍する学部・学科では取得できない教員免許状の取得が可能になっている。また、社会人が通信制度を利用して免許取得も可能であることから、リカレント教育の役割も果たしている。

「●」が無い箇所は通学課程在籍学科で取得できる免許種

## 免許併修で取得可能な教員免許状一覧

### 「免許併修」とは

通学課程で在籍する学部・学科では取得できない教員免許状を、通信教育課程で履修することにより取得する制度です。「免許併修」で取得することが可能な教員免許状は下表のとおりです。



●「免許併修」で取得可能な教員免許状一覧 ※1～15のうち1つの教員免許状課程に限る

「免許併修」で取得可能な教員免許状課程	通学課程在籍学科												
	仏教学科	日本文学科	中国学科	英米学科	歴史学科	歴史化学科	教育学科	幼児教育学科	臨床心理学科	現代社会学科	公共政策学科	社会福祉学科	大学院修士課程
1 社会/中学校1種 地理歴史/高校1種		●	●	●				●					
2 社会/中学校1種 公民/高校1種		●	●	●				●					
3 地理歴史/高等学校1種 公民/高等学校1種		●	●	●			●	●					
4 国語/中学校1種・高校1種	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5 英語/中学校1種・高校1種	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
6 数学/中学校1種・高校1種	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●
7 宗教/中学校1種・高校1種		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●
8 中国語/中学校1種・高校1種	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9 福祉/高校1種	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
10 情報/高校1種	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	
11 書道/高校1種	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
12 地理歴史/高校1種		●	●	●			●	●	●				
13 公民/高校1種		●	●	●			●	●					
14 幼稚園1種	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●
15 小学校1種	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●

※通学課程で取得できる教員免許状は、この制度では取得できません。

●の記載欄が取得可能です。

## 【基本情報】

高知大学 理工学部は、数学物理学科・情報科学科・生物科学科・化学生命理工学科・地球環境防災学科の5学科から構成されている。免許取得数が多い学科は、数学物理学科：数学（中・高）、生物科学科：理科（中・高）、化学生命理工学科：理科（中・高）である。令和2年からの免許取得者が継続的に50名程度であり、継続的に数学・理科の教員を育成している。

## 【取得できる免許種別】

数学物理学科	数学コース：数学（中・高） 物理化学コース：理科（中・高）
情報科学科	情報（高）
生物科学科 化学生命理工学科 地球環境防災学科	理科（中・高）

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	21% (47/223)
教員就職率	28% (13/47)

## 特徴的な取組

- ✓ 1年次から教職課程の科目や実験を展開しており、**4年間を通じた計画的な履修を実現している。**
- ✓ **教職課程の科目はすべて通常時間割に開講**されており、専門科目と無理なく両立が可能である。
- ✓ 教師教育センターが教職課程に関する情報発信を行っており、『**教職課程ハンドブック**』による**ガイダンス**で、**教職希望学生に4年間の見通しを立てるよう**に指導している。また、現職教員を講師とした教職キャリア支援ガイダンスも実施している。

## 強みと専門性

「**地域関連科目**」という高知県の事象を教材として扱った内容を展開し、自らの専門性を地域再生・活性化に活かそうとする人材の養成をしている。



## 【教職課程の入口】

- 教職課程に関する説明は「教師教育センター」が4月に実施している。このときに使用される『**教職課程ハンドブック**』に教員免許取得までの流れや注意点が記載してあり、教職課程を履修する学生は4年間の見通しを立てることができる。
- 教師教育センターが実施した学内の教員免許取得者へのアンケートによれば、**理工学部入学時に教員免許取得を決めていた学生が多かった**ことがわかっている。「教員を目指している理系の受験生」にとって、高知大学理工学部は魅力的な選択肢の一つになっているようである。

## 【履修中】

- **1年の前期から教職科目が展開**されている。特に実験は、原則各学年で1つずつ受講するように周知されている。
- **専門課程科目も教職課程科目もすべて通常時間割内で開講**されている。また、**理工学部の履修案内には、教職科目を含めた標準時間割が例示**してあり、履修登録に関する学生の負担は軽減されていると考えられる。
- 実験科目は学科・コースによっては選択科目となっており、卒業要件に含めることが可能になっている。例えば化学生命理工学科では、卒業要件の単位を取得することで教職課程の「教科に関する専門的事項」（「教科指導法」を除く）がそろそろ。教職課程を履修している学生は「教育の基礎的理解に関する科目」と「教科指導法」等を履修することで教員免許の取得が可能になる。

## 【教員採用試験などの支援】

- 現職教員との交流機会や教員採用試験対策を、教育学部や教師教育センターが主催している。このように現場だけでなく、学生同士の交流機会を提供している。
- 教師教育センターにおいて、**教職実践高度化専攻の現職教員院生を講師とする教職キャリア形成支援ガイダンス**を実施しており、より身近な現場を知る機会を提供している。

## 【その他】

- 教職課程を含めた4年間の時間割はほとんど固定されている。単位制に慣れていない学部1年生にとっては、ある程度決まった時間割があるのは、教職課程の履修ハードルを下げる効果が期待できる。一方、2年生から教職課程を履修する場合は非常に忙しくなる。他キャンパスで開講している集中講義による履修などで対応しているとのことだった。

## ○高知大学『教職課程ハンドブック』

教職課程の情報がわかりやすくまとまっている。ハンドブック作成経緯や活用方法なども、文書として発信されている。

<出典>

岩城裕之, et al. "高知大学『教職課程ハンドブック』の作成と活用による開放性教員養成の高度化." *高知大学教育研究論集* 24 (2019): 23-29.



## ○標準時間割の例

『理工学部履修案内』に例示されている化学生命理工学科の標準時間割の一部を示す。教職科目を含めた時間割が例示されている。また、実験は前期・後期に開講されている。

<出典>

<http://science.cc.kochi-u.ac.jp/info/dtl.php?hdnKey=863>

上記Webページに標準時間割が掲載されている。

化学生命理工学科 1年生 標準時間割

※標準時間割は履修登録上限単位数に満たない場合や超えている場合があります。複数の時間から選択できる授業は[]で示している。

1学期 (\*:必修科目、#:選択必修科目、○:教職科目)

	月	火	水	木	金
1	#微積分学通論 *[理工系線形代数学]	*[物理学概論] [地球科学概論]	*大学基礎論	[化学概論] #確率・統計学概論	教養(外国語)
2	#微積分学基礎 教養 ○[憲法を学ぶ] ○[教育学・教育課程概論D]	教養(外国語)	*情報処理	*英会話 I	教養
3	*大学英語入門 I	#線形代数学概論 #微積分学基礎 [生物学概論]		*基礎物理化学	*基礎有機化学
4		[基礎化学実験I](前半) [基礎化学実験II](後半)		教養	
5	*課題探求実践セミナー	[基礎生物学実験]			

2学期

	月	火	水	木	金
1	*[物理学概論] ○[教育制度論C]	[生物学概論] [地球科学概論] ○[教職入門B]	*学問基礎論	教養 ○[教育学・教育課程概論C]	*基礎生化学
2	教養 ○[教職入門C]	*基礎無機化学	教養 ○[憲法を学ぶ] ○[教育心理学概論C]	*英会話 II	*基礎分子生物学
3	*大学英語入門 II	[化学概論]			教養
4	*[理工系線形代数学]	[基礎化学実験I](前半) [基礎化学実験II](後半)		○特別支援教育入門	
5	*科学者・技術者倫理	[基礎生物学実験]			データサイエンス基礎

## 【基本情報】

高知県立大学 看護学部 看護学科（定員80人）は、日本で最初の4年制大学の看護教育機関として昭和27年に設置、看護師、保健師、助産師、養護教諭を養成する学科である。統合カリキュラムモデルを示し、学生が将来の進路希望に合わせて履修を行う。<1) 看護師国家試験受験資格+保健師国家試験受験資格、2) 1)+養護教諭一種免許状、3) 看護師国家試験受験資格+助産師国家試験受験資格>

## 【取得できる免許種別】

養護教諭一種免許状

- ✓ 「**看護師国家試験受験資格**」、「**保健師国家試験受験資格**」をベースに「**助産師国家試験受験資格**」などの資格取得コースも開講している。

## 【2022年度 教職課程の情報（学部のみ）】

教員免許取得率	16% (13/80)
教員就職率	54% (7/13)

## 特徴的な取組

- ✓ 統合カリキュラムモデルを、看護臨床科目を教員養成の教育課程関連科目として位置付けている。
- ✓ 看護臨床科目及び人体や人間の心に関する専門基礎科目、看護基礎科目の学修や看護実習での経験を、教員養成の教育課程を支援する学修として位置付け、養護の専門性につながる教職実践力の育成に努めている。
- ✓ 学校現場との交流の機会を積極的に設け、学生の進路選択や免許取得に向けた意欲の持続を図っている。

## 強みと専門性

看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎とする看護の専門性を、教員養成においては児童生徒等を人間、健康・環境・生活の視点から包括的に理解し、学校保健活動を実践する教育者の能力と位置付け、養成している。



### 【教員養成での工夫】

- **統合カリキュラム**による講義について、**看護学部全教員が共通理解**を図って望んでいる。全科目とも、養護教諭一種免許はじめ看護学部で取得可能な4つの**資格を意識して講義**をしている。
- 「養護教諭になりたい」という学生の意欲を確認・継続させるために、学年に合わせた**履修指導を段階的に実施**している。1年生での集団での履修指導後、2年生では集団＋グループによる指導、3年生ではさらに個別指導を組み合わせて、**継続的な支援**を実施している。
- 就職ガイダンスでは、卒業生である現職養護教諭から学校現場での職務内容や子どもの様子を聞くことにより**養護教諭の仕事に具体的なイメージ**をもつことができるようにしたり、修士課程の現職養護教諭の話聞いて**キャリアビジョン**をもって**養護教諭の職**を選択できるようにしたりしている。

### 【履修学生確保の取組】

- ホームページや大学案内パンフレット掲載のほか、**オープンキャンパス**のなかで時間を確保して、担当大学教員から説明をしている。
- **高等学校訪問**の際には、**進路担当教員**だけでなく、**当該校の養護教諭**にも面談して説明をしている。
- **地域の小中高**等学校への**出前講座**を積極的に展開し、**その機会に児童生徒や教職員に看護学部の教職課程の存在についてPR**をしている。
- 学校教育現場だけでなく、医療現場で働いている**卒業生によるPRの機会**を設けている。

### 【教員採用試験の支援】

- **現職教員との交流機会**や**教員採用試験対策**を、看護学部での講義内や教職実践センターが主催して設けている。
- **リカレント教育**の機会を設け、講師として養護教諭をしている**卒業生のため**の**教員採用試験対策研修会**でフォローアップをしている。

### 【養護実習での学校連携】

- **養護実習の事前指導**では、**学校教育に関わる多様な講師を招聘**し、学校教育や子ども**の現代的健康課題**の理解を深めている。講師は、小中学校校長会会長、教育委員会指導主事（養護教諭）、少年補導センター所長、保健師（ヤングケアラー・虐待対応担当）等である。
- **養護実習終了後**には、「**養護実習に関する連絡会**」を開催し、**事前指導で講話**を行った校長会会長や実習校の校長などの参加のもと、実習の振り返りを行い、次年度の養護実習に向けての成果と課題をつなげている。
- **養護実習での巡回指導**では、学生の指導だけでなく、**学校の信頼を得て連携を強化**する機会、**現職のニーズを把握**する機会と考え、**大学経営や採用試験対策**に生かしている。

## ○統合カリキュラム

養護教諭養成に関わる教職課程は、授業科目を教職に関する専門科目、養護に関する専門科目、養護又は教職に関する専門科目、共通教育科目、専門基礎科目、看護基礎科目、看護臨床科目、総合科目で編成している。



## ○履修モデル

